

### 第3回の計算の補足

- 「固有ベクトルは定数倍しても同じ固有値を持つ」の説明

$\hat{A}|x\rangle = \lambda|x\rangle$  となる  $\hat{A}$  の固有ベクトル  $|x\rangle$  を定数  $c$  倍したベクトルを

$$|y\rangle = c|x\rangle$$

とする。このとき、

$$\hat{A}|y\rangle = \hat{A}(c|x\rangle) = c\hat{A}|x\rangle = c\lambda|x\rangle = \lambda(c|x\rangle) = \lambda|y\rangle$$

であるので、 $|y\rangle$  は  $\hat{A}$  の固有値  $\lambda$  の固有ベクトルである。つまり固有ベクトルを定数倍しても固有値は変わらない。

- ベクトルの規格化の説明

規格化されていない任意のベクトル  $|a\rangle$  から

$$|\tilde{a}\rangle = \frac{|a\rangle}{\sqrt{\langle a|a\rangle}}$$

を定義する。 $\sqrt{\langle a|a\rangle}$  が定数であることに注意。このベクトル  $|\tilde{a}\rangle$  は規格化されている。実際、

$$\langle \tilde{a}|\tilde{a}\rangle = \frac{\langle a|a\rangle}{\sqrt{\langle a|a\rangle}\sqrt{\langle a|a\rangle}}$$

なので

$$\langle \tilde{a}|\tilde{a}\rangle = \left( \frac{\langle a|a\rangle}{\sqrt{\langle a|a\rangle}\sqrt{\langle a|a\rangle}} \right) = 1$$

となる。つまり任意のベクトル  $|a\rangle$  から規格化されたベクトル  $|\tilde{a}\rangle$  を作ること（ $|a\rangle$  を規格化する」という）ができる。 $|a\rangle$  と  $|\tilde{a}\rangle$  の違いは定数倍のみなので、上の説明より規格化しても固有値は変わらない。

- スピン演算子の2乗

定義式 (27) より

$$\hat{s}_x^2 = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\hat{s}_y^2 = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & -i \\ i & 0 \end{pmatrix} \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & -i \\ i & 0 \end{pmatrix} = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} (-i)i & 0 \\ 0 & i(-i) \end{pmatrix} = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

$$\hat{s}_z^2 = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1^2 & 0 \\ 0 & (-1)^2 \end{pmatrix} = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$$

となる。 $\hat{s}_z$  の計算には対角行列の2乗は各成分の2乗の対角行列になることを用いた。よってこの計算は、パウリ行列の2乗はどの成分でも単位行列になることを表している。